

第4学年 道徳科学習指導案

令和元年 6月11日（火）第5校時

- 1 主題名 どちらが正しいのかな 【 A 善悪の判断、自律、自由と責任 】
- 2 ねらい 主人公の気持ちや正しい行いをする理由を考えることを通して、正しいと判断したことを行動に移す大切さに気づき、様々な学習や生活場面において主体的に判断し、それを実行していこうとする態度を育てる。

教材名 「クラスたいこう全員リレー」（出典：「みんなの道徳4年」学研教育みらい）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本題材は、小学校学習指導要領第3章特別の教科道徳の内容項目[A主として自分自身に関すること]の[善悪の判断、自律、自由と責任]、第3学年及び第4学年「正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。」をねらいとしている。この項目は、第1学年及び第2学年の項目「よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。」を受け、第5学年及び第6学年の項目「自由を大切に、自律的に判断し、責任のある行動をすること。」、中学校の内容項目「自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。」に発展していく。

この時期の児童は、様々な学習や生活を通して、正しいことや正しくないことについての判断力は高まってきており、自分の行為の善悪についても把握できるようになってきている。しかし、正しいこととわかっていてもなかなか行動に移せなかったり、よくないこととはわかっていても周りに流されたり、自分の弱さに負けてついやってしまったりということも日常生活の中ではよく起こることである。

そこで、正しいことを行えないときの後ろめたさや、自ら信じることに従って正しいことを行ったときの充実した気持ちを考え、正しいと判断したことは自信をもって行い、正しくないと判断したことは行わないようにする態度を育てる必要がある。特に、正しくないと考えられることは人に勧めないことはもとより、人から勧められたときにきっぱりと断ったり、正しくないと考えられることをしている人を止めたりできるように指導することが大切である。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、これまでに、道徳の時間に善悪の判断について考えを深めてきた。3年生では、「あとひと言」「心にひびくかねの音」「言い出せなくて」の教材で、よいと思うこと、正しいと思うことは、自信をもって行動することが大切であることを学習してきている。

4年生になり、身近にある様々な出来事に対して、自分で考えて正しく判断する力も高まってきている。正しくないことをしている友達に対して、周りの子が注意する姿も見られ、正しい行動をしようという雰囲気も育ってきている。一方で、状況によっては、自分の都合や思いを優先したり、周囲の状況に流されてしまったり、正しいと判断しても行動に移せず躊躇したりする姿も見られる。

本授業を行うに際して、本学級の児童が、これまでの体験やどのような考えをもっているのかを把握するために、本主題に関する意識調査を行った。結果は以下の通りである。

問1 正しいとわかっているにもかかわらず言えなかったり、できなかったりしたことがありますか。それは、どんなことですか。どうして言えなかったり、できなかったりしたのですか。	
■	■
<ul style="list-style-type: none"> ・友達が間違っていたり、いけないことをしたりしているのに注意ができなかった。 (授業中、清掃中、休み時間、遊んでいる時など) ・友達に「いやだ」「やめて」と言えなかった。 ・約束やルールを守れなかった。(ゲームの時間、廊下歩行、授業中、清掃中、下校時など) ・友達や自分がいけないことをしたのに、親や先生に言えなかった。 	
(理由)・友達だから。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達に嫌われてしまうから。 ・友達に文句を言われるから。 ・友達や親、先生におこられるから。 ・ゲームや遊びが楽しいから。 ・ゲームや遊びに夢中になっていたから。 ・友達もやっているから、やってもいいと思ったから。 ・ちょっとぐらいなら守らなくてもいいと思ったから。 ・言える勇気がないから。 ・注意をしても、どうせまたやるから。 	
問2 友だちがいけないことや間違っていることをしている時に、注意をしたことがありますか。それは、どうしてですか。	
■	■
(理由)・いけないことだから。 <ul style="list-style-type: none"> ・危ないことだから。 ・けがをするから。 ・みんなに迷惑だから。 ・友達のためだから。 ・注意しないと、その友達がまたやってしまうかもしれないから。 	(理由)・言うのが嫌だから。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達に嫌われてしまうから。 ・注意しても聞いてくれない人だから。 ・他の友達が注意してくれるから。 ・その注意が間違っていたら嫌だから。 ・注意をしてもけんかになるから。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、自分の判断に自信をもって行動に移すことについて考えることを通して、ねらいに迫るものである。

リレー大会の前日、走ることが苦手なたけしをチームから外すという意見が出され、主人公のそうたは、それが正しくないことはわかっているながらも、周囲の状況に流され、何も言えなくなってしまいう話である。

本教材を活用し、正しいと分かっているにもかかわらず、周囲に流されてしまい、自分の意見を言えないそうたの心の弱さを感じ取らせたい。また、なぜ言わなければならないのか、正しい行いをする理由についても考え、ねらいに迫っていきたい。

そのため、そうたの姿を通して、以下の視点について話し合うこととする。

1 自分の意見を言えないそうたについて

ここでは、正しいと分かっている、自分の意見を言えなかったそうたに共感させ、多角的・多面的に考えさせていく。

2 正しいことを言わなければならないことについて

ここでは、なぜ言わなければならないのかを考えさせる。正しいと分かっている、そうたのように行動できないのであれば、状況は解決しない。話し合いを通して、多様な価値観に触れ、ねらいに迫ることができるようにする。

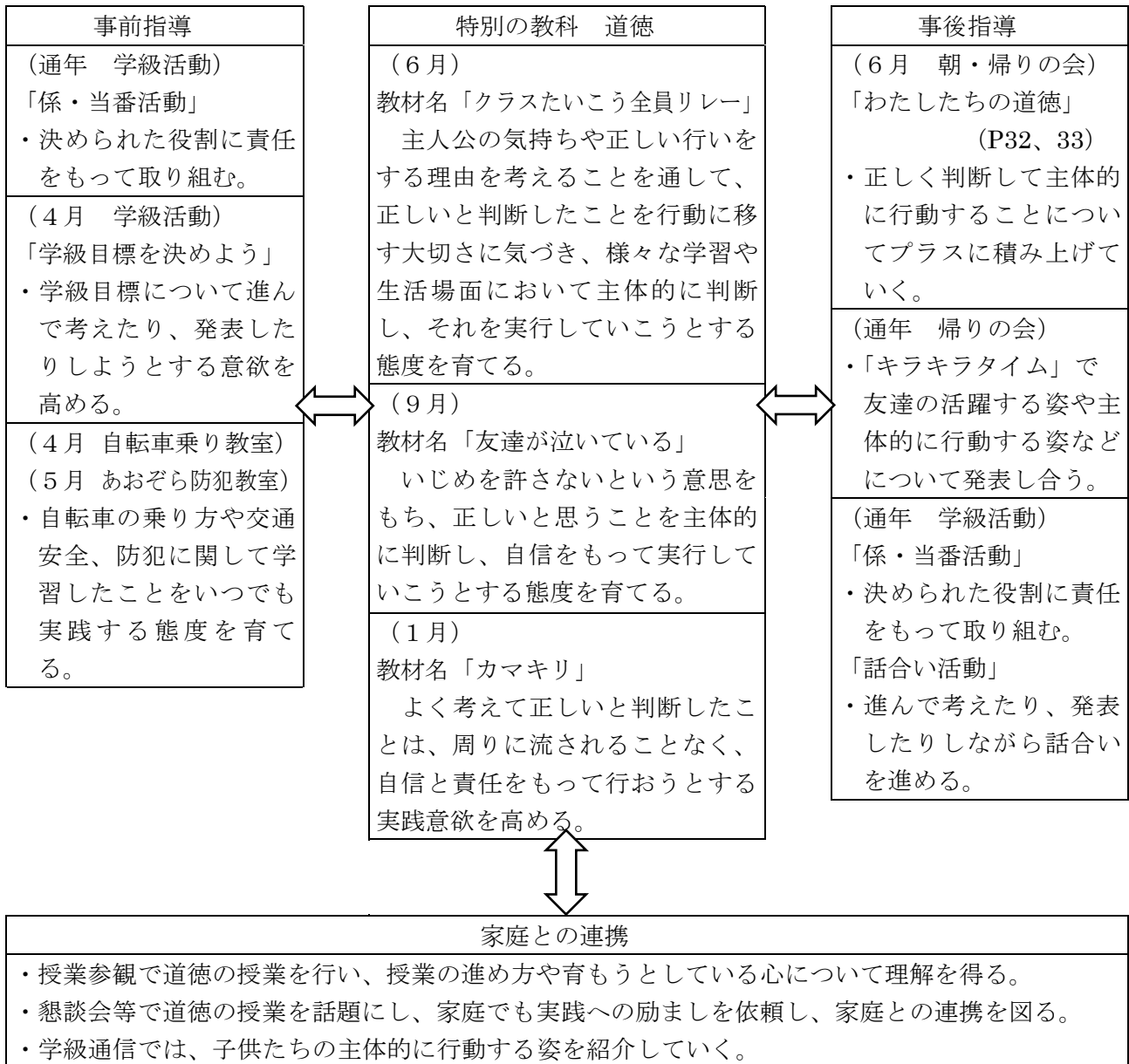
以上の理由から、本主題を設定した。

4 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 アンケートの結果を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなも、正しいことが言えなかったり、できなかったりしている。 ・友達に注意をしたことのある人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にとったアンケートの結果を示し、本時の道徳的価値への方向付けを図る。
	2 本時の課題をつ 正しいことをするためには、何が大切なのだろう？		<ul style="list-style-type: none"> ・本時では、「正しいことをすること」について考えていくことを伝え、課題意識をもたせる。
	3 教材を読んで話し合う。		<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物や条件・状況を整理する。 ・教材を範読する。
	(1) そうたさん、ゆうじさんの意見についてどう思うか。	<ul style="list-style-type: none"> ・そうたさんの意見は正しい。みんな走らないといけない。 ・ゆうじさんの意見はよくない。たけしさんを外すのはおかしい。 ・ゆうじさんが優勝したい気持ちもわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい意見としてのそうたの考え、正しくない意見としてのゆうじの考えを比べて考えさせる。優勝したいというゆうじの思いにも共感させる。
	(2) 言うべきだと分かっているのに、そうたさんが自分の意見を言えなかったのはなぜだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなも「無理しないほうがいいよ」と言っているから。 ・みんなに文句を言われるから。 ・みんなに嫌われるから。 ・仲間はずれにされそう。 ・言いたいけど、勇気が出ない。 ・負けたら、たけしのせいにされるから、たけしがかわいそうだ。 ・たけしがいなければ勝てる。 ・ゆうじの優勝したい気持ちもわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言うべきだと分かっているのに言えなかったそうたの心の内を探っていく。そうたに共感し、多角的・多面的に考えられるようにする。 ☆正しいと分かっていると言えなかった主人公の心の内について捉えている。(発言・つぶやき)

展 開	(3) たけしさんは、 どんな気持ちだ ろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・明日は走りたい。 ・今まで練習してきたのだから走りたい。 ・「やめたほうがいい」「無理しないで」とか言わないで。 ・みんなは、ぼくには出てほしくないのかな。 ・ぼくは出ないほうがいいのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなから口々に言われ困っているたけしの気持ちを考えさせる。そして、このままの状況でいいのか、そうたはどうすればいいのかを考えさせ、そうたが自分の意見を言うべきだということに気づかせていく。
	(4) なぜ、そうた さんは、言わな ければいけない のだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・全員リレーだから、たけしさんも走らないといけない。 ・たけしさんを外すのはおかしい。 ・ゆうじさんが2回走るのはおかしい。 ・勝っても嬉しくないから。 ・いけないことだから。 ・間違っているから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そうたは自分の意見を言うべきだという理由について考えさせる。全体での話し合いを通して、多様な価値観に触れ、自分の考えを深めさせたい。 <p>☆正しいと判断したことを行動に移すことの大切さについて考えている。(発言・つぶやき)</p>
	(5) もし、そうた さんが自分の考 えをゆうじさん に言ったとした ら、どんなこと を言っただろ う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆうじさんは、間違っているよ。みんなで走ろうよ。 ・全員リレーだから、たけしさんも走らなきゃ。(言った時の気持ち) ・言ってよかった。 ・たけしさんも走れる。 ・正しいことができた。 ・勇気を出して言えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そうたは、ゆうじにどんなことを言ったのかを考えさせる。ペアで役割演技を行い、いくつかのペアに発表させる。ゆうじに言うことができたそうたの気持ちも考えさせ、正しいと判断したことを行動に移すことのよさにも気づかせたい。
	4 本時の学習を通 してわかったこと を書く。 ・今日の学習でわ かったことを書 こう。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えて行動する。 ・自分の意見をしっかり言う。 ・勇気をもって行動する。 ・自分がよいと思うことを進んで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの考えや学んだことを道徳ノートに書かせる。 <p>☆正しいと判断したことを行動に移すことの大切さについて、自分との関わりで考えている。(ノート)</p>
終 末	5 本時の道徳的価 値を深めるスライ ドを見せる。		<ul style="list-style-type: none"> ・「心のノート」(P21,22)「わたしたちの道徳」(P31,32)から抜粋したものを紹介し、実践意欲を高める。

5 他の教育活動との関連



6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・正しいと分かっていると言えなかった主人公の心の内について多面的・多角的に考え、正しいと判断したことを行動に移すことの大切さについて話し合っている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・正しいと判断したことを行動に移すことの大切さについて、自分との関わりで考えている。

クラスたいこう全員リレー



たけし

- ・走るのおそい。
- ・大会の前日まで学校を休んでいた。



そうた

- ・自分の意見が言えなかった。



ゆうじ

- ・たけしさんの分まで走る。
- ・たけしに「練習やめておいたほうがいいよ」という。

- ・明日はがんばりたい。
- ・練習してきたから走りたい。
- ・そんなこと言わないで。
- ・ぼくに出てほしくないのかな。

- ・みんなでがんばってきた。
- ・たけしさんだけが出られないのはざんねん。
- ・たけしさんは出るほうがよいのかなと思う。

- ・ゆう勝したい。
- ・ぼくが2回走れば、ゆう勝できる。
- ・ゆう勝できたら、たけしさんも、よろこんでくれると思う。

- ・勝ちたい気持ちもわかる。

心の弱さ

- ・みんなも言っている。
- ・文句を言われる。
- ・きらわれる。
- ・仲間外れにされる。
- ・言わなきゃいけないけど勇気が出ない。

- ・負けたら、たけしのせいにされる。
- ・たけしがかわいそう。

なぜ言わなければ

- ・たけしさんを外すのはおかしい。
- ・いっしょにやらなきゃいけない。
- ・勝ってもうれしくない。
- ・いけないことだから。
- ・まちがっているから。

今日の学習で

- ・自分で考えて行動する。
- ・自分の意見を言う。
- ・正しいと思うことをする。
- ・勇気をもって行動する。

正しいことをするためには、何が大切なのかな？